

科目名	急性期看護方法論 (Acute Care Nursing Methods)			科目コード	212
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数(時間)	2単位(60時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3年次前期	関連DP	看②
担当教員	松井 美由紀、宮宇地 秀代、仲田 琴美				
授業概要	急性期にある患者の看護(特に周術期看護)の方法と実際について教授する。 実践的な学習ができるようにシミュレーション教育を施しながらすすめていく。				
授業目標	急性期にある患者の看護を実践するための基礎的な知識と方法を修得することができる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1～2	急性期看護概論	急性期にある人の特徴と理解	松井美由紀
3	周術期看護(1)	周術期にある人の特徴と理解 手術侵襲と回復過程	松井美由紀
4～6	周術期看護(2)	代表的な術後合併症に対する看護 ～肺合併症・せん妄・イレウス・縫合不全 術後感染・深部静脈血栓症～	松井美由紀
7～10	周術期看護(3)	周術期過程に応じた看護 ～術前から術後～	松井美由紀 宮宇地秀代
11～12	周術期看護(4)	ドレーン管理【技術演習を含む】	松井美由紀
13～15	周術期看護(5)	人工肛門造設術を受ける患者への看護 【技術演習含む】	宮宇地秀代 松井美由紀 仲田琴美
16～18	救急看護および クリティカルケア(1)	救急医療体制と救急医療の特徴 循環不全と呼吸不全	松井美由紀
19～23	周術期看護(6)	術式別に応じた看護 ～胃切除術および肝切除術～ 【シミュレーション含む】	松井美由紀 宮宇地秀代 仲田琴美
24～28	救急看護および クリティカルケア(2)	人工呼吸器装着患者への看護 救命処置・輸液ポンプ・吸引【技術演習を含む】	松井美由紀 宮宇地秀代 仲田琴美
29～30	知識と技術の統合	事例検討【グループワーク】	松井美由紀 宮宇地秀代 仲田琴美
成績評価方法	筆記試験(70%) 学習課題(30% 小テスト含む)		
教科書	雄西智恵美・秋元典子「周手術期看護論」(ヌーヴェルヒロカワ)		
参考図書等	池松裕子・山勢善江「急性期看護論」(ヌーヴェルヒロカワ) 山勢博彰「救急看護学」(医学書院) 監修/坂本すが「完全版ビジュアル臨床看護技術ガイド」(照林社)		
授業時間外の 学習について	予習: 提示した学習課題、演習DVDの視聴およびグループ課題 復習: 授業で学習した内容を振り返り(技術は練習する)、実習に向けた準備につなげる。		
関連科目	人体の構造・機能(141～143), 臨床病態学I(153), 基礎看護学(201～209), 成人看護対象論(210) → 本科目 → 急性期看護論実習(212)		
備考	*授業は、時間割の都合上、日程等が変更になる可能性があります。 *技術練習をする場合は、担当教員に連絡すること		